



## 2027年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年6月15日

上場会社名 サンバイオ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4592 URL <https://www.sanbio.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 敬太  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 角谷 芳広 TEL 03 (6264) 3481  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2027年1月期第1四半期の連結業績 (2026年2月1日～2026年4月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期第1四半期	—	—	△953	—	△779	—	△836	—
2026年1月期第1四半期	—	—	△1,007	—	△1,750	—	△1,531	—

(注) 包括利益 2027年1月期第1四半期 △972百万円 (—%) 2026年1月期第1四半期 △880百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年1月期第1四半期	△10.71	—
2026年1月期第1四半期	△21.38	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年1月期第1四半期	14,517	12,677	85.5	159.10
2026年1月期	15,621	13,604	85.4	170.93

(参考) 自己資本 2027年1月期第1四半期 12,418百万円 2026年1月期 13,338百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年1月期	—	—	—	—	—
2027年1月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2027年1月期の連結業績予想 (2026年2月1日～2027年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	—	—	△2,906	—	△2,908	—	△2,909	—	△37.28
通期	396	—	△5,229	—	△5,074	—	△5,133	—	△65.77

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年1月期1Q	78,058,883株	2026年1月期	78,033,331株
② 期末自己株式数	2027年1月期1Q	540株	2026年1月期	540株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年1月期1Q	78,039,497株	2026年1月期1Q	71,648,029株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

日本の再生医療業界においては、再生医療安全性確保法及び改正薬機法のもと、再生医療等製品の実用化が進展しています。米国においても、21st Century Cures Actに基づくRMAT制度のもとで迅速承認が進められており、日米ともに再生医療の制度整備と実用化が進んでいます。

このような環境のもと当社グループ（以下、当社及びSanBio, Inc.（米国カリフォルニア州オークランド市）の2社を指します。）は、アンメットメディカルニーズが高い中枢神経系疾患を主な対象とし、当社グループ独自の細胞治療薬SB623の事業化を目指して、研究開発を進めてきました。

SB623慢性期外傷性脳損傷プログラム（以下、「本プログラム」）については、2018年11月に日本を含む国際共同フェーズ2臨床試験において主要評価項目を達成し、2019年4月に先駆け審査指定制度の対象品目に指定されました。当該枠組みにおいて開発が進められ、2024年7月に「アクーゴ®脳内移植用注」（以下、「アクーゴ®」）として条件及び期限付き製造販売承認を取得し、2025年12月には出荷制限の条件解除を目的としたアクーゴ®の製造販売承認事項一部変更の承認がされました。その後、2026年5月に薬価基準収載され、薬価は72百万円に決定されるとともに、販売開始に至っています。

今後については、このアクーゴ®が、国内において製造販売承認を取得し、出荷制限に係る一部変更承認を経て、薬価収載および販売開始に至った実績を踏まえ、米国をはじめとするグローバル展開および脳梗塞等への適応拡大に向けた取り組みを推進してまいります。米国においては、外傷性脳損傷を対象とした開発について、米国食品医薬品局（FDA）とフェーズ3試験のデザインに関する合意に至っており、臨床試験開始に向けた準備を進めています。また、国内の脳梗塞においても、医薬品医療機器総合機構（PMDA）との協議を予定しており、治験開始に向けた準備を推進しています。これらの取り組みにより、中長期的な成長機会の拡大を見込んでいます。

このような状況のなか、当第1四半期連結累計期間は、アクーゴ®の製造販売承認事項一部変更承認取得に関連する費用が主なものとなり、研究開発費680百万円を計上した結果、営業損失は953百万円（前年同四半期連結累計期間は営業損失1,007百万円）となりました。一方、為替相場の変動による為替差益が発生したため、営業外収益として為替差益177百万円を計上し、経常損失は779百万円（前年同四半期連結累計期間は経常損失1,750百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は836百万円（前年同四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純損失1,531百万円）となりました。

なお、当社グループは他家幹細胞を用いた細胞治療薬事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績記載を省略しています。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、14,316百万円(前連結会計年度末は15,489百万円)となり、前連結会計年度末に比べて1,173百万円減少いたしました。これは、現金及び預金が1,085百万円減少したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、201百万円(前連結会計年度末は131百万円)となり、前連結会計年度末に比べて69百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が54百万円増加したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、270百万円(前連結会計年度末は534百万円)となり、前連結会計年度末に比べて264百万円減少いたしました。これは、未払費用が195百万円減少したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、1,569百万円(前連結会計年度末残高は1,482百万円)となり、前連結会計年度末に比べて87百万円増加いたしました。これは、繰延税金負債が55百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、12,677百万円(前連結会計年度末は13,604百万円)となり、前連結会計年度末に比べて926百万円減少いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失836百万円を計上したこと、為替換算調整勘定が136百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,083,233	13,997,814
前渡金	198,936	145,473
その他	207,376	172,908
流動資産合計	15,489,546	14,316,196
固定資産		
有形固定資産	69,115	123,683
無形固定資産	43,891	43,891
投資その他の資産	18,986	34,054
固定資産合計	131,993	201,630
資産合計	15,621,539	14,517,826
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	129,000	62,000
未払金	165,452	125,292
未払費用	212,671	16,999
未払法人税等	1,210	302
賞与引当金	12,523	51,091
その他	13,436	14,445
流動負債合計	534,293	270,132
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,109,700	1,117,800
繰延税金負債	372,879	428,701
資産除去債務	—	23,241
固定負債合計	1,482,579	1,569,743
負債合計	2,016,873	1,839,875
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,375,431	8,401,781
資本剰余金	12,086,873	12,113,224
利益剰余金	△995,899	△1,831,940
自己株式	△1,164	△1,164
株主資本合計	19,465,240	18,681,900
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,126,751	△6,263,093
その他の包括利益累計額合計	△6,126,751	△6,263,093
新株予約権	266,177	259,144
純資産合計	13,604,666	12,677,951
負債純資産合計	15,621,539	14,517,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
事業収益	—	—
事業費用		
研究開発費	723,135	680,758
その他の販売費及び一般管理費	284,212	272,578
事業費用合計	1,007,347	953,337
営業損失(△)	△1,007,347	△953,337
営業外収益		
受取利息	601	10,801
為替差益	—	177,049
その他	32	31
営業外収益合計	634	187,882
営業外費用		
支払利息	1,893	730
社債利息	5,400	8,100
為替差損	711,987	—
資金調達費用	934	5,437
株式交付費	23,353	63
営業外費用合計	743,569	14,331
経常損失(△)	△1,750,282	△779,785
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,478
特別利益合計	—	1,478
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,750,282	△778,307
法人税、住民税及び事業税	302	1,912
法人税等調整額	△219,094	55,821
法人税等合計	△218,791	57,733
四半期純損失(△)	△1,531,490	△836,041
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,531,490	△836,041

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
四半期純損失(△)	△1,531,490	△836,041
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	651,269	△136,341
その他の包括利益合計	651,269	△136,341
四半期包括利益	△880,221	△972,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△880,221	△972,382
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年2月1日 至2025年4月30日)

当社グループは、他家幹細胞を用いた細胞治療薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年2月1日 至2026年4月30日)

当社グループは、他家幹細胞を用いた細胞治療薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年2月1日 至2025年4月30日)

当第1四半期連結累計期間において、当社は、2025年3月3日を払込期日として、CVI Investments, Inc. から第三者割当増資の払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ500,000千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が2,996,192千円、資本剰余金が6,707,635千円となっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年2月1日 至2026年4月30日)

当第1四半期連結累計期間において、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ26,350千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が8,401,781千円、資本剰余金が12,113,224千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	1,900千円	4,016千円